

### 3. くしろ管内居住者グループインタビュー

#### <調査概要>

くしろ管内の地元住民が感じているくしろ地域の食・観光の魅力を調査するため、グループインタビューを実施した。調査の概要は以下のとおり。

---

□調査方法： グループインタビュー（インタビュー時間：120分）

□調査会場： 釧路市観光国際交流センター 3階 研修室

□調査日程： 平成22年11月4日（木）・5日（金）13：00～15：00

□サンプル数：4グループ（各4名、計16名）

①11月4日（木）<20～40代・男性グループ/女性グループ>

②11月5日（金）<50～60代・男性グループ/女性グループ>

□対象者条件： ・くしろ管内在住者（8市町村全て）

・食や観光に興味を持っている方

・幅広い職種の方

□対象者リスト

#### 11月4日（木）

性別	No	居住地	年齢
男性	1	釧路町	32
	2	浜中町	30
	3	標茶町	32
	4	白糠町	29
女性	1	釧路市	20
	2	弟子屈町	23
	3	鶴居村	31
	4	厚岸町	41

#### 11月5日（金）

性別	No	居住地	年齢
男性	1	釧路市	51
	2	弟子屈町	58
	3	鶴居村	36
	4	厚岸町	56
女性	1	釧路町	52
	2	浜中町	60
	3	標茶町	56
	4	白糠町	51

---

## 1) くしろの物産

インタビューで挙げられたくしろの物産を概観すると、食材としては、牡蠣、ししゃも、昆布、丹頂いちご、ブルーベリー等の農水産物、エゾシカ肉、海藻ポーク、星空の黒牛等の畜産物、鶴居村のチーズ等の乳製品、その他、福司、鍛高譚等の酒、釧路ラーメン、ザンタレ、えもん丼などB級グルメ、泉屋のスパカツ、ヘイゲルグラウスマナー、COVO等のレストラン、和商市場の勝手丼、飯寿司、牛乳豆腐、いも団子等の郷土料理等、全体としては海鮮イメージだけではなく幅広い物産が挙げられている。

厚岸の牡蠣は長期に渡る商品開発とプロモーション等の展開により、独自でブランドを確立しているが、海藻ポーク、星空の黒牛、各種農産物、乳製品など生産者は努力しているものの、現状における認知度は管内においても低いものとなっている物産が多く見られる。

地域ブランドの条件として、まず地域住民がその価値を共有していることが挙げられるが、地域の住民が入手することができず、実際に食べる機会も少ないという食材も見られ、地元食材の地元での消費を望むコメントが見られた。

### <主要コメント> くしろの物産

---

#### 魚介類

- ・ やっぱりくしろはお寿司・生もの・魚が美味しい。(20代女性)
- ・ 秋刀魚が特に美味しい。(20代女性)
- ・ ホッキは生だからこそ美味しく食べられることを知った。(40代女性)

#### 牡蠣

- ・ 飲食店を経営しているが、厚岸の牡蠣は海水温が低いということで非常に美味しく通年で使える。お客さんの中で、牡蠣が名産の広島から来られた方もこれは素晴らしいと言っていた。お客様から不満の声を聞いたことがない。(50代男性)
- ・ 先日テレビ番組の『青空レストラン』で出演者が厚岸に来て番組内で牡蠣と秋刀魚を食べていた。地元に住んでいる自分が知らない牡蠣の食べ方がいっぱい紹介されていて、地元住民にも紹介してほしいと感じた。(40代女性)
- ・ 今ではブランド化している「カキえもん」もあそこまでくるのに、試行錯誤しながら10年近くかかった。漁協や行政が力をあわせてやってきて、軌道に乗ってきたのだと感じる。いろいろ外にも出て行って宣伝した努力がようやく報われる時がきているのかなと感じている。(50代男性)

### ＜主要コメント＞ くしろの物産

---

#### カキの燻製(厚岸)

- ・ 厚岸のカキの燻製を初めて食べたが、値段は若干高いがすごく美味しくて、ビールが飲みたくなった。(20代女性)

#### カキ醤油

- ・ 厚岸には牡蠣で作ったカキ醤油がある。刺身や生ものを食べるには普通の醤油より断然美味しい。(40代女性)

#### ししゃも

- ・ 釧路の飲食店で「シシヤモづくし」を食べてアンケート葉書を送ったら、シシヤモセットが当たった。凄く美味しく本州の友達に送ったら喜ばれるかなと思いつつも、どこに行ったら買えるかわからないのが残念。(30代女性)
- ・ ししゃもが遡上する川は3本しかないと言われており、そのうちひとつ「庶路川」で11月の夜に見たししゃもの遡上風景が忘れられない。最初何も見えないと思っていたが、よくよく目を凝らすと秋の満月の元、川全部が「ししゃも」で驚いた。ししゃもが遡上する時は、卵もパンパンの状態が一番おいしい成熟状態で遡上する寸前を取るから味がいい。ししゃもの遡上風景やおいしさの理由をしっかりと伝えて本場モノとしてPRすることが重要なのでは。(50代女性)

#### 昆布

- ・ 「釧路東部」「昆布森」「浜中」「厚岸」「散布」の5つの漁協で採れた昆布をまとめて『釧路産』としているから、個々のブランドがなく特色が出せていないのでは。昆布の場合は道外の商社が買い付けて加工昆布として販売しているので、道外メーカーが生産した商品の原料として使われていることが多く、一般市場に「釧路産」として出ることがあまり無いようだ。(50代女性)

#### 炉端焼き

- ・ 炉端焼きで魚介を食べたら、オーダーしていないものも出てきて、それが案外美味しかったなんてこともよくある。(30代男性)

#### 勝手井

- ・ 先日テレビ番組で勝手井が紹介されていたが、道外の友達が来たときにはよく一緒に食べに行く。美味しくて安くて満足。(20代女性)
- ・ 道外の方が来ると最初に「勝手井」と言う。東京から来た友達と和商市場に行ったときに「このいくら井の米粒が見えない感じがすごい！」と感激して写真もいっぱい撮ってた。(30代女性)
- ・ 釧路の和商市場に行くとワクワクする。いろいろな食材があって全部美味しそうなので、行けば必ず勝手井を食べている。(30代男性)

### <主要コメント> くしろの物産

---

#### 農産物 果物／野菜

- ・ 釧路町は魚介類だけではなく野菜も良いものが採れており、トータル的にいろいろな食材に恵まれた街だと常々感じている。ただ、魚介類が先行しすぎている感があり、ハウレンソウや大根、「丹頂いちご」などの農産物も広く知ってもらいたい。(30代男性)
- ・ 『青少年旅行村』でブルーベリーを栽培している。8月が収穫時期だが限定でネット販売するとアツという間に完売してしまった。(20代男性)
- ・ 常設の小屋で野菜を売っている所が管内にはあるが、そのような情報をまとめたマップ、何月頃、ここでこういう野菜が買えるというような「野菜ガイドマップ」が欲しい。(50代男性)

#### ピュアホワイト(甘いとうもろこし)

- ・ とうもろこしを生で食べたのは初めてだったが本当に美味しい。メロンのような味わいで、人工的な甘さではなくて果物みたい。(20代女性)
- ・ 家でとうもろこしを育てているが、ピュアホワイトじゃなくてももぎたては生で食べられる。(30代女性)

#### 乳製品

- ・ 鶴居村のチーズ(乳製品)が賞をもらっていて特産品として有効活用されている。(30代男性)
- ・ 鶴居村はチーズが美味しくて花がいっぱい咲いていて、街並みが綺麗。(50代女性)
- ・ 標茶町では酪農家が生産した牛乳をトラックにつめた後どんな製品にされるかを、生産者が把握していない様子。地元産の牛乳を学校給食に出すという地産地消の動きもあるようだが、せっかく魅力的な生産物があるのに地元の人が口にできないというのは、もったいない。(30代男性)

#### 「飲むヨーグルト・プリティア」と「アイスクリーム」(標茶)

- ・ 道東管内は「海のもの」と「山のもの」が豊富。標茶町から「山のもの」で言うと「飲むヨーグルトのプリティア」(乳製品)をブランド化して売っている。長く自分たちで販売するには何かしらのサポートが無ければ続かないのでは?と感じている。(50代女性)

#### 牛乳豆腐

- ・ 栄養価の高い牛の初乳で作る「牛乳豆腐」は、見た目も食感も普通の豆腐だが、チーズみたいにトロっとしていて豆腐より少し濃厚な感じがする。わさび醤油をつけて食べたり、湯豆腐っぽくしてお鍋で食べたりする。一般販売はしていないようで、年に1回程度いただいた時に食べられるという貴重なもの。(30代女性)

### <主要コメント> くしろの物産

---

#### エゾ鹿肉

- ・ 鹿肉のソーセージや鹿肉バーガーも出ている。(30代男性)
- ・ 今まで出会った鹿料理で一番美味しいと感じたのが「やまと煮」。「クジラのやまと煮缶」のような味で上手に作っていると感じた。(50代男性)
- ・ 地元の間は、鹿肉のマイナスイメージがとれないのでは。内臓や角を漢方薬に利用できると思う。(50代女性)

#### 海藻ポーク

- ・ 釧路ブランドとして『海藻ポーク』という名前でブランド豚肉が売り出されている。海藻の成分がまるまる入った餌を食べさせていて、肉質の成分が優れていて肉がしまっているのに柔らかい。くしろ管内でも一部のレストランで出されているがまだまだ認知度が低いので、これからどんどんPRしてほしい。まだ知られていないながらもいろいろ優れているものがくしろ管内には沢山ある。地元住民もいいと感じているものは積極的に発信すべき。(30代男性)
- ・ 釧路のブランド豚として定着してもらいたいし、レストランでもより広く扱ってもらいたい。地元のもので良いものだ、ということアピールするのが良い。くしろ管外の方からは、くしろ地域は魚介類で有名と言われるが、肉や野菜でも沢山良いものがある食材の街くしろを知ってもらいたい。(50代男性)

#### 星空の黒牛

- ・ 今は街をあげて『星空の黒牛』という和牛を売り出している。ただ地元での販路が少なく、多くが道外の百貨店やスーパー、高級レストランへ行ってしまふ。地域ブランドっていうと地元の人にも味を知り尽くしているのが地域に根ざしたブランドなのでは。(30代男性)

#### ヘイゼルグラウスマナー レストラン&ホテル(標茶町 虹別)

- ・ 虹別に「ヘイゼルグラウスマナー」というところがあって、そこにご飯を食べに行くのが好き。姉妹店が標茶の塘路にもあるが、虹別では乗馬もできる。宿泊も可能で遠方から飛行機でわざわざ訪れる人も多らしい。(30代女性)
- ・ オリーブオイルが美味しく、友人とそのオリーブオイルだけを買いに虹別に行くのが、流行っている。(30代女性)

#### コーボ“COVO” イタリアンレストラン(弟子屈町 屈斜路)

- ・ 屈斜路に移住されてカヌーガイドをされていた方が、「コーボ」というイタリアンレストランを開いている。お店も手作りで、木を切ってデザインも自分でされていて、とってもおしゃれなところで、食事の味も美味しい。そこに行くのが自分の中のひそかなマイブーム。弟子屈(屈斜路)で採れた野菜しか使っておらず、肉も弟子屈町産のものを使っている。(20代女性)

## ＜主要コメント＞ くしろの物産

---

### B級グルメ

- ・ “南蛮酎”の『ザンタレ』が良い。(30代男性)
- ・ 釧路市でB級グルメのイベントがあったが、もっと話題になってほしい。ただ、どこで買えるという情報がなかったことが残念。(30代男性)
- ・ 厚岸で今年の春先からご当地グルメで「えもん丼」というのをやっているが、地元の人がほとんど食べていない。(50代男性)

### スパカツ

- ・ 10～20代の若い人はみんな泉屋の「スパカツ」に満足して帰っていく。(20代女性)
- ・ 美味しい。熱々の鉄板に乗っていて、他では食べられない味。(40代女性)

### 釧路ラーメン

- ・ 「釧路ラーメン」のあの細麺が本州にはウケないようで、「そうめん感覚で食べられるラーメン」にしたほうがいいのかなど。(50代男性)
- ・ 2年位前に釧路麺遊会ラーメンのパンフレットが各店舗にあって、全店制覇しようと食べ歩いたことがある。(50代男性)

### 飯寿司

- ・ 厚岸には秋刀魚の「飯寿司」がありとても美味しい。お店ではあまり売っていないようだが、厚岸の人は家庭で作って食べている。果物のような香りが出て独特の風味がある。好みはあると思うが自分にはとてもおいしく感じる。(40代女性)

### いも団子(摩周湖)

- ・ 摩周湖に行ってもいも団子を食べると美味しい。摩周湖で食べるというシチュエーションが良いのだと思う。(50代女性)

### 頑固豆腐(標茶町)

- ・ 標茶の頑固豆腐をよく買う。(60代女性)

### つじや食堂のスーパークレー(弟子屈)

- ・ 可愛いタイの雑貨とかが沢山売っていて雰囲気が良い。(30代女性)
- ・ つじや食堂さんはおしゃれで良い。(20代女性)

### 「スウィート・ドウ・バラック・カフェ」(弟子屈)

- ・ 素材にこだわったケーキ屋さん。おしゃれで美味しい。(30代女性)
- ・ 美味しい。本場に行って修行したと聞いた。(20代女性)

**<主要コメント> くしろの物産**

---

**双子卵**

- ・ 山花リフレの近くにある卵（双子卵）の自販機はよく利用していて、朝一番で買いに行く。農家の方が朝入れているため、午前10時ぐらいにはもう売り切れている。割ったら双子の卵だが、持ってみた感覚が通常の卵と違って重量感を感じる。（20代女性）

**酒**

- ・ 釧路には『福司』がある。（20代女性）
- ・ 厚岸にも日本酒で『北のさくらさく』という福司のお酒がある。道の駅やコンキリエで買える。（40代女性）
- ・ 飲んだことがないが、カキのエキスを使ったカキのビールがあると聞いており、味は少ししょっぱいと聞いた。（40代女性）
- ・ 白糠の『鍛高譚』も美味しい。（40代女性）

## 2)くしろの観光資源

くしろ地域内に一定時間滞在する観光客は少なく、特定のポイントのみに立ち寄り、通過しているケースが多い現状では、くしろエリアの良さは伝わらないというコメントが多く見られた。

一方で、夏の避暑地として好評であり、夏場に長期滞在客でにぎわう宿泊施設もあるというコメントも挙げられている。

また、“他の地域と比べると地域の意識が薄いのかもしれない”というコメントのように、“何もないところ”と考えてしまっている地域住民も多いことが窺える。

### <主要コメント> 観光全般

---

- ・ 観光客の人は地図を見て、釧路から旭川や札幌までがすぐというような感覚があるようだが、白糠・浜中間でも3時間はかかる。くしろ地域の各市町村の実際の距離が遠いため、交流が少なく、バラバラになってしまうのでは。(50代女性)
- ・ くしろ管内の広さが「地域のブランドづくり」にはつらいところかも。(50代女性)
- ・ 釧路は今、通り抜け状態になっていると感じる。(50代女性)
- ・ 釧路市を拠点に、今日は厚岸・浜中方面、今日は標茶方面、今日は白糠方面というように各ルートが魅力づけできないと、うまくいかないと思う。(50代女性)
- ・ 他の地域と比べると地域の意識が薄いのかもしれない。他地域の人だと「地元だとこんな良いところあるよ」と言うところ、くしろ地域の方だと「何にもないです」となることが多い。それを聞いた人は「じゃ、他のところに行きます」となるのでは。(30代男性)
- ・ 観光の仕事をしているが、滞在時間が短いと何もできない。3時間くらいいると色んなものが見えてくる。(30代男性)
- ・ 夏はカヌー、釣り、乗馬など一日中楽しむことができ「天然のディズニーランド」という人もいる。バイクツーリングの方も来るが、道が真っすぐで爽快感を得られる。(30代男性)

### 避暑地・ロングステイ

- ・ くしろ地域は避暑地としても好評。涼しく、環境も良く、道外ではなかなか食べられない新鮮な食べ物が安価に食べられる。くしろ地域は夏過ごしやすく快適で魅力的な地域だと思う。(30代男性)
- ・ 自分が住んでいる地域に『ヘイゼルグラウスマナー』というホテルがあり、夏になると料金は決して安くはないながらも、長期滞在する方でいっぱいになる。(30代男性)



## 2)くしろの観光資源／カテゴリー

特定の観光スポットとしてではなくカテゴリーとして挙げられた観光資源としては、夕日、海岸線、直線道路、カヌー・自然体験、温泉、鉄道、昆布漁の光景、アイスホッケー、コールマイン等が挙げられている。

“新聞で見て、釧路の夕日がきれいだと実感した”、“直線道路がとても爽快とのこと”、“(カヌーに)はまる人の気持ちがわかった。景色が目の前に広がって、壮観”といったコメントのように、外からの情報によって体験し、改めて地元の観光資源に気付いたという人が多いようである。

### <主要コメント> カテゴリー

---

#### 釧路の夕日

- ・ 釧路の夕日は“世界三大夕日”として有名だが、まだまだ認知されていなくて勿体ない。函館山のロープウェイのように夜景を見るならここ、というようなスポットが釧路の夕日においても良い。(20代女性)
- ・ 毎日釧路の夕日を写真に撮り twitter で掲載されている方がいるのを新聞で知った。普段は夕日も見慣れてしまってさほど感動しないが、写真を見るとあらためて釧路の夕日の美しさを実感した。(30代女性)
- ・ 以前弟子屈で釧路の夕日ばかりを集めた写真家の展覧会あった。すごくロマンチックで見に行ってみたいと思った。(20代女性)

#### 海岸線

- ・ くしろ地域の海岸線をバイクで走るのが良い。バイクに限らず、自転車だったり、徒歩だったり、同じ場所でも違った景色が楽しめる。また、歩くなら『霧多布湿原』も良い。(30代男性)

#### 直線道路

- ・ くしろ地域の「直線道路」を体験するために、首都圏から自転車のツアーの方が来るが、とても爽快とのこと。それだけでも観光素材となっているようで、ターゲットを変えたらまだまだ素材が眠っているのでは。(30代男性)

#### カヌー体験

- ・ これまでカヌーやボートに乗ったことがなかったが、釧路湿原の川をボートで下ると湿原の自然の力に癒された。(20代女性)
- ・ 別寒牛川でカヌーをやった。漕ぎ始めたら、カワセミが目の前を飛んでいて癒された。静かな水面にも癒されて、はまる人の気持ちがわかった。景色が目の前に広がってきて壮観だった。(40代女性)

**<主要コメント> カテゴリー**

---

**自然体験**

- ・ くしろ管内のいたるところに自然の魅力なり景観の魅力があるが、それを全部周ろうとすると移動距離が長距離となる。本州から友人が来て案内するにも何時間ものコースになってしまうので、ラフティングやカヌーのような体験型のプランなら同じ時間かかっても、満足度合いが高くなるのでは。(50代男性)

**温泉**

- ・ 川湯温泉のお湯がすごくいいと聞いていて毎年行っている。(50代男性)
- ・ オンシーズンにかぶらない安い時期に阿寒湖温泉に行く。景色も露天風呂も良い。(20代女性)

**鉄道**

- ・ 根室に行く『花咲線』から見る景色が良い。(30代男性)
- ・ 列車に乗ると自動車と違った、またいい景色が見られる。(20代男性)

**昆布漁船**

- ・ テレビニュースで見て初めて知ったが、昆布を獲りに沖に出るとき漁船が一斉にスタートし、その光景が迫力満点だった。(50代女性)
- ・ 浜のお母さん達が、何が一番綺麗だと思っているかといえば、昆布を獲りにいくときに朝日に向かって走らせる船の中で見る景色がとっても綺麗で一番好きと言ってる。そういう声も聞かせてあげると、昆布に対してもっと愛着が生まれると思う。エコツアーなどで地元の人が生産しているものを「こんな風に獲っていて美味しいんだよ」という話をもっと聞かせてあげたり、現場を見せてあげたりするのは、とっても大事。(60代女性)

**アイスホッケー**

- ・ 友人に誘われ、釧路のリンクで開催されたホッケーの試合を見に行った。釧路以外の人達との交流もあって面白かった。(20代女性)
- ・ 友達(女性)が大学生の時にアイスホッケーをやっていて、試合に見に来てと言われ見に行った。実際見るとすごく楽しい。(40代女性)

**コールマイン**

- ・ トロッコに乗るような、コールマインの見学コースがあれば面白い。炭鉱の文化になかなか馴染めていない我々の年代が知ることも大事なと思う。観光ルートにするのもいいと思う。(30代男性)

## 2)くしろの観光資源／観光スポット

具体的な地域・名称で挙げられた観光スポットは以下の通り。

### <主要コメント> 観光スポット

---

#### 釧路町森林公園

- ・ たまに外国の方を案内すると野鳥がたくさんいて、それがすごく喜ばれる。(30代男性)

#### 鶴居グリーンパーク

- ・ ちょっと遊ぶなら「鶴居のグリーンパーク」も良い。(20代男性)
- ・ 家族連れや子供が小さいと最高の場所。(30代男性)

#### 西別岳、摩周岳

- ・ 町内唯一の山で摩周岳の続いたところに『西別岳』がありそこが気に入っている。今まであまり深く考えず暮らしていたが、せっかく地元にいるので好きな場所を見つけようと思った。色々まわってみて、今年子供を連れて2回ほど登った。(30代男性)

#### 道の駅・白糠恋問

- ・ 白糠の恋問の砂浜も子供は喜ぶ。アイスクリームも売っていて、海の近くまで車で行くことができ、夏場はけっこう賑わう。(20代男性)

#### 霧多布湿原の霧多布湿原センター

- ・ 手作りのおもちゃで子供を遊ばせながら、親もゆっくり本を読めるルームがあり、家族で行ってもそれぞれが楽しめる。景色がすごくきれいでゆっくり楽しめる。いいところなのにいつも空いているのは残念に思う。(40代女性)

#### 釧路湿原の遊歩道

- ・ タンチョウが飛んでいる姿に見慣れてしまっていたが、初めて見る道外の方々はビックリするんだなと思った。(30代女性)

#### 宮島岬・キラコタン岬

- ・ 鶴居村に来たときには、「宮島岬」「キラコタン岬」には是非行ってもらいたい。ガイド付きでないといけない所だが、役場の教育委員会に連絡すると見学できる。すごい時間をかけて苦勞してやっと見られるので、行く価値がある。(30代男性)

#### 北太平洋シーサイドライン

- ・ 厚岸の愛冠岬からは太平洋パノラマの雄大な海の風景が見れる。「愛の鐘」(ベルアーチ)というのがあって、鐘を鳴らすと幸せになれるという「言い伝え」があり、駐車場から岬まで600m位歩くが、自然の中を探索しながら歩いて行って雄大なパノラマが出てくる。(50代男性)

### <主要コメント> 観光スポット

---

#### 鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ

- ・ 冬の間はタンチョウの写真を撮りに来るお客さんが多いが、ツアーだとバスが止まって降りてタンチョウを見る時間が10分位で、すぐ別のところへ行ってしまう。それはちょっと寂しい。(30代男性)

#### 霧多布岬

- ・ 霧多布の岬は良い。(50代女性)
- ・ 今は映画『ハナミズキ』効果で若いカップルが多い。(60代女性)

#### 釧路駅周辺

- ・ 20年ぐらい前までは幣舞橋を全国各地から見に来ていたが最近はその数も減ってしまったように感じる。釧路駅から幣舞橋に続く通りがきれいになると、通りの美しさ、橋から見える夕日の綺麗さ、花時計のすごさが相まって、もっと観光客を呼び込めるところになるのでは。(50代女性)

#### 「国泰寺」(厚岸)

- ・ 厚岸の「国泰寺」は歴史があつてすごく有名。(50代女性)
- ・ 『国泰寺』の桜がきれいだと聞いて、わざわざ桜を遠くから見に来る人がいる。お寺も立派で桜もすごくきれいだが、交通の便が悪い。(40代女性)
- ・ 『国泰寺』は中国映画のスポットになっていて、行きたがっている人は多いかも。行き方を調べたが、バスがなくてもまったく感じる。(20代女性)

#### 庶路ダム

- ・ 白糠だと『庶路ダム』がある。白糠中心部から30分くらいかかるが、先日も「紅葉ウォーク」があつて紅葉を見ながら歩くイベントに参加してきた。町外からも沢山参加していた。(20代男性)

#### 鶴居どさんこ牧場

- ・ 自分自身まだ一回も行ったことがないが、「鶴居どさんこ牧場」で出演者が乗馬をしている場面をテレビ番組で見た。自分の友人も、お気に入りの馬がいるため、年間パスポートを買って旭川から通っていたと聞いた。(30代女性)

#### 足湯 (弟子屈・阿寒湖のキャンプ場)

- ・ 10個まではいかないが弟子屈は足湯だらけ。気軽に入れるし無料でお勧め。(20代女性)
- ・ 去年子供と2人で足湯めぐりをした。小さい子供の服を脱がせたり着せたりしなくてよくて、足だけで入れるからよく行く。(30代女性)

**<主要コメント> 観光スポット**

---

**浜中町・一番咲きの桜**

- ・ 浜中町は“一番遅咲きの桜”って売り出している。隅っこだからこそその売出しができるのだろう。(30代男性)

**無料の温泉(弟子屈)**

- ・ くしろ管内にも、様々な種類の温泉があるがそこそこで自然の温泉がある。屈斜路は、湖の砂を自分で掘って温泉を作るのが最大の売り。そこは水着で入っても大丈夫。(20代女性)

**仙鳳趾**

- ・ 釧路の高山からずっと抜ける海岸線道路はすごく眺めがいい。朝日・夕日が最高。人があまりいないのが不思議なくらい。(50代女性)

**和商市場**

- ・ やっぱり食が集まっているのは和商市場だと思う。1箇所ではいろいろなものが食べられ、野菜から海鮮まで全部あるので、和商をもっとPRした方が良い。駐車場を広くしたり、行きやすいような状態にすればもっと皆が来て、美味しい食材が食べられる魅力的なスポットになる。(50代女性)

**阿寒湖**

- ・ 阿寒湖もいい。紅葉シーズンもきれいだし観るところはたくさんある。(50代女性)

## 2)くしろの観光資源／歴史・文化

物産や観光資源のブランディングに必要なストーリー付けの素材となる歴史・文化の深さに関するコメントが挙げられている。

### <主要コメント>

---

#### 釧路の歴史

- ・ 釧路の歴史の物語は、掘り起こせばたくさんある。昆布なら、北前船で始まり200年近くの歴史がある。その歴史の始まりが、厚岸の国泰寺であり、釧路の佐野孫右衛門であり、それが道東の開拓の始まりになっている。そこから、根室・網走・オホーツクと開拓の歴史が続いている。(50代女性)
- ・ 歴史プラス食べ物、例えば、鮭は昔はこうやって食べられていたけど、今はその名残で山漬けがありますとか、食べる分だけしか取らなかったとか。どんどん道東の物語として盛り込んでいったら面白い。(50代女性)
- ・ 物語と産物がつながっているってことは、それだけ古くから食べられていて美味しいものだと思うことだと思う。(50代女性)
- ・ 自分が住んでいるところに昔、徳川家に鮭を献上したことで有名な川がある。その源流が虹別にあり、摩周の伏流水らしい。それが別海町の方にも流れていて、弟子屈、標茶、別海で上流をきれいにしないと下流の水に影響が出るということで、地域で植樹などに取り組んでいる。(30代男性)

#### 佐野孫右衛門

- ・ 佐野孫右衛門さんは、江戸末期から明治の初めにかけて、くしろ地域を開拓した人物。米町の歴史資料館近くに美味しいものが食べられたり、お土産やグッズが販売できる場所があればよい。(50代女性)

#### アイヌ文化

- ・ 鶴居のそばの“ヒッコリー ウィンド”でアイヌの方の貴重なお話が聞けるというイベントをやっている。アイヌの木彫りを見てノスタルジーを感じた。(30代女性)
- ・ アイヌコタンもあるし、掘り起こせばたくさんある。(50代女性)

#### 石川啄木

- ・ 釧路の「石川啄木」は売りが足りない。「啄木・雪あかりの町・くしろ」というイベントをやっているが、食べ物も啄木が愛した食べ物があつたらいい。(50代女性)

### 3)くしろ管内地域間の交流

エリア内の町村や他エリアとの交流を主体的に行っているケースも挙げられた。今後くしろ地域としてのブランディングを行う際には、8市町村の交流の場が必要という指摘も挙げられている。

#### <主要コメント>

---

- ・ 釧路町と鶴居村の女性部で交流を始めた。交流することで、相手の町がどういうものを持っているのかが分かる。お互いの町へ出向いて、魚の調理方法を教えたり、チーズやソーセージの作り方を教えてもらったり、そういう交流をはじめている。(50代女性)
- ・ 学校や生協、道の漁連などの企画で「料理教室」をやっている。鮭をおろしているところとかをみんなに見せたり。11月にも釧路の国際交流センターで鮭をさばく講習会をやる。それをやらないと普及しなくて…。(50代女性)
- ・ 8市町村が一緒になって交流するチャンスがあれば、お互いの良いところから学びあって、切磋琢磨することによって、各市町村が地域の魅力を掘り起こすことができる。(50代女性)
- ・ 個々の持っている持ち味を生かして、それを全体としてどう売っていくかということが大事だと思う。自分たちだけで囲い込まないで、くしろ地域はこれを一押しでやっていきますよという、意思表示、そしてみんなで作っていくというチームワークが必要だと思う。(60代女性)

### 4)他地域で魅力的に感じるモノ・コト

食に関しては函館のコメントが中心となっており、函館とイメージが結びついた海産物、加工品がある＝ブランドが確立していることについてのコメントが挙げられている。

#### <主要コメント>

---

- ・ 函館道南ブランドは、加工品も塩辛とかイカの刺身とか釧路よりもイメージしやすい。(30代男性)
- ・ 函館だったら『ラッキーピエロ』が有名。地元で愛されているお店が釧路には少ないかも。(20代男性)
- ・ 先日函館へ行ってきたが、港町の風景など釧路と類似しているところが多いと感じた。ただ、函館は地域ブランドが出来上がっているように思った。売り込みイベントもやっていて、定義がきちんとあるところは、見習う部分が多かった。(30代男性)

## 5)PRの必要性

食、観光を通してPR不足に関するコメントが多く挙げられた。特に食に関しては外への発信のみではなく、まずは管内の人が認知し地元の食を根付かせていく必要性があるというコメントが挙げられている。

### <主要コメント>

---

- ・ 地域外に発信する前にまずその地域内で、宣伝なり色々なことをして地元で根付かせることが大切。宣伝の方法も、他とはここが違うからおいしいなどの工夫が必要。(50代男性)
- ・ 農産物にしてもやっぱりその良さを皆に知ってもらわないといけないと思う。まず、良い物をどうやって広く認知させていくか、という部分に力を入れないと「釧路＝魚介類のみ」というイメージから脱却できないと思う。(30代男性)
- ・ 弟子屈も以前は地元の食材がどこで手に入るか地元の人知らなかった。今年から本格的に各生産者がA-COOPまで持ってきて販売できることになり、地場産の野菜コーナーとして多くのスペースがとれている。(50代男性)
- ・ PRガイドマップに弟子屈のモデルコースが載っているが、その場所の何処が良いのか書いてない。もっと掘り下げて情報を載せたほうが良い。(30代男性)
- ・ 函館は看板も多く宣伝も上手で観光地化できている。それを手本にして自分たちのところも活発にしていかなければならないと思う。(50代女性)

### 映画「ハナミズキ」

- ・ 映画の影響で、釧路に来たいという人達が結構いる。釧路と言ったら「あ、ハナミズキの？」と言われる。(20代女性)
- ・ 釧路の認知度が上がった感じがして、映画の力のすごさを感じた。(20代女性)